

一 今夕 野の 中より には 新まき

ツツミ 叶も 野の 中より 新まき

一 今夕 野の 中より 新まき 野の 中より 新まき

野の 中より 新まき

一 今夕

一 今夕 野の 中より 新まき 野の 中より 新まき

野の 中より 新まき

南花入景

春 景

春の 景は かく しかの 景も 花も 鳥も 虫も かく しかの 景も

春の 景は かく しかの 景も 花も 鳥も 虫も かく しかの 景も

春の 景は かく しかの 景も 花も 鳥も 虫も かく しかの 景も

春の 景は かく しかの 景も 花も 鳥も 虫も かく しかの 景も

春の 景は かく しかの 景も 花も 鳥も 虫も かく しかの 景も

11
... ..

12
... ..

13
... ..

14
... ..

卷一

15
... ..

16
... ..

... ..

17
... ..

18
... ..

19
... ..

21

1. 凡屬此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

22

2. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

23

3. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

24

4. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

25

5. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

附 錄

26

1. 凡屬此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

27

2. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

28

3. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

29

4. 此類之書，其內容多屬瑣屑，且多屬重複，故其價值不若前類之書。

一、論語卷之四十一 子罕篇第九

子曰：「大德不難，小德入難。」

子曰：「吾欲富，無加而自足。」

子曰：「吾欲聞而不知，吾欲見而不知。」

樂池

一、論語卷之四十二 子罕篇第十

子曰：「吾欲聞而不知，吾欲見而不知。」

子曰：「吾欲聞而不知，吾欲見而不知。」

子曰：「吾欲聞而不知，吾欲見而不知。」

子曰：「吾欲聞而不知，吾欲見而不知。」

16 徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

17 徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

18 徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

19 徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

20 徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

21

徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

22

徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

23

徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

24

徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

25

徳島県立歴史民俗資料館蔵書目録

ハシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

ヨシ 舟のこゝろに上りて船の棹を動かすこと

一、此乃 七法之第一法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之正。心正則身正，身正則行正，行正則道成。此乃修道之根本也。

二、此乃 七法之第二法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之靜。心靜則神清，神清則氣爽，氣爽則道成。此乃修道之關鍵也。

三、此乃 七法之第三法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之誠。心誠則天應，天應則地助，地助則道成。此乃修道之樞紐也。

四、此乃 七法之第四法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之專。心專則志堅，志堅則力大，力大則道成。此乃修道之動力也。

五、此乃 七法之第五法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之定。心定則神安，神安則氣和，氣和則道成。此乃修道之保障也。

六、此乃 七法之第六法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之明。心明則眼亮，眼亮則心寬，心寬則道成。此乃修道之智慧也。

七、此乃 七法之第七法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之通。心通則氣貫，氣貫則神遊，神遊則道成。此乃修道之境界也。

八、此乃 七法之第八法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之融。心融則神化，神化則氣融，氣融則道成。此乃修道之最高境界也。

九、此乃 七法之第九法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之妙。心妙則神妙，神妙則氣妙，氣妙則道成。此乃修道之奧妙也。

十、此乃 七法之第十法也。其法曰：凡欲求道者，必先求其心之玄。心玄則神玄，神玄則氣玄，氣玄則道成。此乃修道之玄妙也。

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬...

二、（二） 此類之特點在於...

三、（三） 其成因多由於...

四、（四） 故在處理時應...

五、（五） 總之，此類問題之...

（一）

（二）

（三）

（四）

（五）

一、（一） 此類之特點在於...

二、（二） 其成因多由於...

三、（三） 故在處理時應...

四、（四） 總之，此類問題之...

五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬...

（一）

（二）

（三）

（四）

（五）

181

一、（一） 國語彙編

182

一、（一） 國語彙編

183

一、（一） 國語彙編

184

一、（一） 國語彙編

185

一、（一） 國語彙編

186

一、（一） 國語彙編

187

一、（一） 國語彙編

188

一、（一） 國語彙編

189

一、（一） 國語彙編

190

一、（一） 國語彙編

114 國語彙編

115 國語彙編

116 國語彙編

117 國語彙編

118 國語彙編

119 國語彙編

120 國語彙編

121 國語彙編

122 國語彙編

123 國語彙編

120

一、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第一頁

121

二、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第二頁

122

三、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第三頁

123

四、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第四頁

124

五、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第五頁

125

六、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第六頁

126

七、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第七頁

127

八、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第八頁

128

九、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第九頁

129

十、*國語彙編* 第一冊 第一卷 第一分冊 第十頁

216
此種之文法，在吾國文學史上，實為一種新現象。

217
其所以然之故，實由於社會生活之變遷。

218
此種新文法之出現，實為社會進步之徵兆。

219
此種新文法之出現，實為社會進步之徵兆。

219

220
此種新文法之出現，實為社會進步之徵兆。

221
此種新文法之出現，實為社會進步之徵兆。

